

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート開成きらり		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動の中に社会生活に反映できる行事などをたくさん盛り込み生活スキルの向上ができるようにプログラムを組んでいること	それぞれの発達段階に応じて対応を行う中で、利用されている児童様がみんな集団の活動に参加できるように支援をしています	現在の取り組みを継続し内容の振り返りを行いながら向上にできるように考えています
2	個別サポートが必要な児童様への支援提供	個別スケジュールや必要な手順書を活用し出来るだけ自立して行動できるように工夫しています	研修などへの参加を行いスタッフのスキルアップをし、新しい情報をもとに支援提供できるようにしてまた、他機関との情報共有なども継続し安定した日常生活に繋げていきたい
3	社内研修や外部研修を重ねスタッフの支援のスキルアップを図っている	特性に合わせ統一した支援を行うために、スタッフの意見抽出をしながら添えそれぞれのスキルに合わせたスキルアップができる機会を設けています	今後も継続し、新しい情報を支援に取り入れていけるように積極的に外部研修の参加や社内研修に取り組んでいきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域行事の参加や保護者交流会などの交流行事化が少ない	地域行事への参加は、時間帯などが合わないことや参加できていた行事が現在実施されていないことが考えられます	事業所行事への呼びかけやお便りを地域の方へも読んでいただき交流に繋げていきます
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハート開成きらり				公表日	2026年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		環境整備を行い広いスペースになったので、今後も必要に応じて環境整備を行いいろいろなスペースの確保に努めます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		法令遵守で配置はしているが、プログラム内容の改善や職員のスキルアップを行っていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		階段や危険箇所はスタッフと動をし安全を確保しながら進めています	危険箇所や階段などは、危ないことが意識できるような環境整備に努める。また、必要に応じた改修などを視野に入れていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・衛生管理チェック表記入を活用しています ・支援状況に合わせ改善しています ・感染対策なども委員会や研修で確認をしています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋はないが休憩スペースの確保など状況に合わせてスペースの確保につとめています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			意見交換や気づきの共有が今後の課題ですのでスタッフのスキルアップと合わせ進めていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価シートをもとに集計をとり進めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日（朝・昼）に出勤者ミーティングを実施 ・月一回の社内会議を設け意見交換の機会がある ・年2回の自己評価時に面談の機会を作り意見を抽出し改善に繋げている	業務分担当やそれぞれのスキルアップなどを行っていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	チャイルドハートFC本部に事業所評価の提出先を設けて必要に応じて意見を頂いている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		それぞれのスキルに合った研修やテストを受ける機会を設けています	定期的にテストに繋げスキルアップを図れるようにします
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに記載しています	事業所や利用者様の状態に合わせたプログラムの見直しをしっかりと進める
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者様の面談をもとに、月のモニタリングや原案会議にスタッフの意見や	原案会議前にスタッフがしっかりアセスメントシートを理解し活用できるようにしていきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		モニタリングやカンファレンス会議などでスタッフの意見抽出をしています	それぞれのスキルアップを図りステップアップを見出し次の計画書へつなげる意見を伝えられるようにしていきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・子ども達自身が意識できるような利用者様別のノートで確認と振り返りを行いトークンシステムに繋ぎ実施しています ・計画→支援→記録→モニタリングと業務の中で意識できるようになっている	モニタリング結果をもとに次の月の支援を協議する機会を設けていけるようにしていきたいです
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		どちらからもしっかりとできています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフミーティングを行いながら進めることができています	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節や利用児童様からの声を取り入れ色々工夫できています	前年度と似通ったものもあり、固定化しそうな所は工夫していきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		あさ・昼のミーティングを実施し共有を図ったり支援時の連携に繋がるようにしています	それぞれのスタッフが状況のイメージができた状態でミーティングできるようにしていきたいです
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	当日は難しい日が多いため、申し送り簿を活用し、翌日ミーティングで情報共有をおこなえるようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	記録はチェックし徹底して実施できています	支援の検証・改善はできている所とできていないところがあり、気づきでミーティングにあげ改善していけるようにします
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		保護者の方も協力的で面談日時の調整票を早めに渡ししっかりできています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		月の会議等で話し合いながらしっかり活動に入れることができるよう努めています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		いろいろな場面で、選択肢を与えたり自分で決定できる場面を作るようにしています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		出席は児発管がおこなっており、スタッフからの情報収集をしっかり行い参画することができています	今後は、機会をつくりいろいろなスタッフが参画できるようにしていきたいです
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関は設けております また、必要に応じて色々な機関と連携するように努めています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者様からの聞き取りやホームページからの情報収集も行いすすめています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学前の支援会議に参加したり関係機関からの情報収集を行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		相談支援事業所との連携をとり進めている所をしっかりと事業所間でできるようにしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		そのような機会はないが、必要に応じて取り入れていきたいです
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		そのような機会がないため、機会を見出していきたいです
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		参加できていない為、情報収集を行い参加に繋げていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時申し送り等時間や連絡ツールを活用ししっかり伝達していけるようにしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		次年度は、ご家族様への情報収集を行い家族支援につなげることができるようにしていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		新規契約時や見学時にしっかりお話の時間をとり理解に繋げられるように努めてます	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング聞き取り書を作成し意見や課題の抽出に繋げています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		児発管が日程調整を図り説明し同意をいただいています	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時やハートリンクなどいろいろな形で相談できる機会をもうけています 事業所で抱えない問題は、相談先を紹介したり解決に向けてすすめています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	年に一度は開催できるように進めています	今後も保護者会の機会を増やせるようにしていきたいです
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご意見を頂いたときは児発管・管理者で迅速に対応する体制をつくっています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムやホームページ、お便りを発行して発信に努めています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		同意書を頂いてはいますが、活用の内容や活用場所などすべて事前に保護者様へ確認を行います	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ご家庭に合わせた対応をさせていただいています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		しっかり区長さんなどへ事業内容を伝え行事への参加を積極的に行ってきたいです
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		実施は年間計画にそってすすめています	保護者様への発信には不足を感じているので、次年度はしっかり発信していきたいです
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		実施は年間計画にそってすすめています	机上訓練が多いので実際に想定した動きなども取り入れて進めていきたいです
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		年度初めに、家庭調査票を作成し情報収集に努めています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	保護者様より情報収集を行い対応しています 指示書はないが保護者の皆様に受診された時に聞き取りしてもらった情報を収集しマニュアル化し対応しています	必要に応じて対応していけるようにすすめます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成しすすめることができている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			ご家族様への周知に関しては不足しているためしっかり計画と実施報告をし周知に努めていきたいです
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		申し送り簿にヒヤリハット欄を作りそれぞれが気づきとしてあげられるようにしています そのため、大きな事故へつながらずにご迷惑を感じるように感じます	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年間計画を立て進めています また、県の研修への参加を行い内容の般化をしています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		委員会の中で話し合ったり必要に応じて委員会を開催し進めている		